

統合脅威管理アプライアンス(UTM)「SS1000」を新発売!

~中小規模事業所向けに特化した、ネットワークセキュリティ装置~

サクサホールディングス株式会社の中核事業会社であるサクサ株式会社(代表取締役社長 越川雅生)は、複数のセキュリティ機能を 1 台の機器に集約した中小規模事業所向け統合脅威管理アプライアンス(UTM_{*1})「SS1000」を開発し、9月から販売開始いたします。

近年、巧妙な迷惑メールによるフィッシングサイトへの勧誘やパソコンの不具合を利用した攻撃による多種多様のネットワーク詐欺行為などが増加するなか、企業でのネットワークセキュリティ強化が求められています。

大規模事業所では、専門知識を持ったネットワーク管理者がメール専用のスパム・ウイルス対策装置、Web専用のフィッシング・ウイルス対策装置など専用のセキュリティ装置を数種類導入し、ネットワークセキュリティの強化を行っています。しかし、中小規模事業所では、専任のネットワーク管理者を置くことは難しく、専用のセキュリティ装置を導入、運用するにも莫大なコストがかかるため、ルータやウイルス対策ソフトウェアのみでネットワークセキュリティ対策を行っているのが実情です。

今回、発売する「SS1000」は、ファイアウォール、迷惑メールブロック機能、Webウイルス対策、メールウィルス対策、情報漏えい対策、不正侵入防御といった複数のセキュリティ機能を1台の機器に集約し、さらに低コストでの導入、運用が可能なため、中小規模事業所向けのネットワークセキュリティ強化に最適の製品です。

※ 1 UTM : Unified Threat Management

■主な特長

1. ウイルス定義ファイルの5年間自動更新

最新のウイルス定義ファイルの更新を5年間、自動で取得更新でき、従来のUTM製品に多く 見られる年度更新のライセンス管理が不要です。また、6年目以降は1年単位の「1年間機能延長」 が可能です。

2. 高耐久設計

従来のUTM製品に多く見られる、駆動部品 (ファン、ハードディスク) を使用していないため、ファンやハードディスク交換の必要もなく、メンテナンス性に優れた製品です。また、小規模オフィス等で気になる騒音の発生がないため、快適なオフィス環境を実現できます。

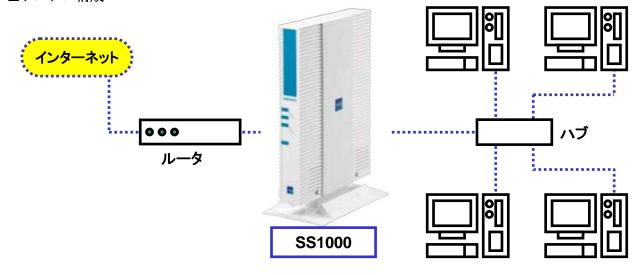
3. 自動ファームウェアアップ対応

「SS1000」は、ユーザがバージョンアップの操作をすることなく、自動的に最新のファームウェアにバージョンアップしますので、常に最新の状態でネットワークの監視を行うことができます。

4. グラフィカルレポート ※10月下旬提供予定

ログ分析ツールを有効利用することにより、ネットワーク管理者を置くことが難しい中小規模 事業所でもネットワークセキュリティ環境の解析が容易に可能となり、ネットワーク上での脅威 が明確になります。

■システム構成



■機能イメージ



■主な仕様

項目	内容
- 現日	PJ谷
本体寸法	$2\ 1\ 0\ \text{mm}\ (\text{W})\ imes 4\ 7\ \text{mm}\ (\text{H})\ imes 2\ 9\ 7\ \text{mm}\ (\text{D})$
質量	1. 6 K g
環境温度	0 ~+ 4 0 ℃
相対湿度	90%以下
電圧	DC12V
最大消費電力	2 4 V A
EMI/安全基準/認証	日本: VCCI-A、JATE
推奨接続台数	20台
インターフェース	USB2. 0 LAN: 10/100/1000Mbps
	WAN: 10/100/1000Mbps
オプション品	据置用品(スタンド)/壁掛用品

■販売目標、標準価格(参考)

- ・今後2年間で10,000台
- ・SS1000 1台 580,000円 (税別、設置工事費別)

※6年目以降の機能延長 1年ごとに、58,000円(税別)

※ネットワーク環境構築のためのルータやハブの機器代は含まれておりません。

〈販売に関するお問い合わせ〉

サクサ株式会社 ソリューション営業本部 営業企画部

担当:及川(おいかわ)、福島(ふくしま)、安達(あだち) TEL:03-5791-5523

〈報道機関からのお問い合わせ〉 サクサ株式会社 総務人事部

総務広報担当:引木(ひきぎ)、福田(ふくだ) TEL:03-5791-5512